コースコード：IL-CD044
税込価格：66,000円 (税抜価格：60,000円)
日数：1日間

ここに注目!!

当トレーニングは、2026年度の情報処理安全確保支援士の実践講習として選定されています。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

・サーバ/セキュリティデバイスの運用担当者
・CSIRT(インシデント対応チーム)要員
・セキュリティに携わるIT技術者
・情報処理安全確保支援士

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

・情報処理安全確保支援士を有する方
・CSIRTの知識を有する方(経験は問いません)

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

修了した時点で、次のことができることを目標とします。
・インシデント対応に求められる実践的な内容を理解する
・インシデント対応の流れと重要性を理解する
・インシデント対応を行う上での「障壁」を理解する
・調査の進め方を理解する
・インシデントに対応する上でコミュニケーションの重要性を理解する

アウトライン

午前

【座学】近年のインシデント発生状況

【座学】近年のランサムウェア攻撃事例

【座学】インシデントレスポンス実践技術と心構え

具体的な事例で解説

インシデント対応

内部者対応

バイアスの話

心構え

ワークショップの説明

午後

シナリオベースの机上演習訓練 (ケーススタディ:ランサムウェア感染事例発生事例)

【演習1】初動対応 (クループワークの発表は考えるポイントをガイドする)

【演習2】外部からの連絡

【演習3】調査結果を受けた行動計画

【座学】講師からの解説とQ&A